

Level	参加可能大会	推薦必要大会	レベル取得可能大会	JTAレベル案	レベルチェックリスト	海外レベルとの比較	2016年以前のレベル保持者対応	レベルを保つため
1	エンジョイリーグ 地方大会の予選・リーグ戦	全日本 SITK Asia Club Championship	エンジョイリーグ 地方大会の予選・リーグ戦	FIT Introductory Level 座学必須、実技なし レベルの定義：ルールを理解している（ルールブックに記載されている内容を理解し、実戦にうつせる）、ある程度試合をコントロールできる。 ある程度の期間レフリーしている人にはIntermediate Levelのレフリーをするように促す ・レフリーの役目の理解、コミュニケーションを取る ・サイドレフリーの役割を覚える ・5mバックがきちんと取れる ・自ら試合を運ぶことができるようになる。経験者が採点したチェックリストを基に次のステップ・課題を横索。経験者がグランド横から必要に応じてサポートする。	FIT チェックリスト		旧L1保持者：座学必須。実技は可能な限りJTA公認指導者による実技指導を受ける。 旧L2：可能であれば座学の講習を受ける。過去1年以上レフリーを専任で行っていない場合は必須。定期的にレフリーを行っている場合は可能な限りJTA公認指導者による実技指導を受ける。 (両旧レベル共にJTAと要相談)	エンジョイリーグレベルや地元クラブチーム主催の交流戦を定期的にレフリーをする JTA主催の地方大会への参加
2	エンジョイリーグ 地方大会・リーグ戦 全日本 SITK SITK SITK Asia Club Championship	(全日本) SITK SITK Asia Club Championship	全日本予選 SITK SITK Asia Club Championship State Cup	FIT Intermediary Level 座学・実技（エンジョイリーグ・JTA地方大会） レベルの定義：ルールの応用ができる（アドバンテージを取れる）、試合をコントロールできる。 ・自然な形で試合を運ぶことができる ・選手に率先してコミュニケーションを図り、可能な限りペナルティーを未然に防ぐ ・次のプレーを予測し始める ・5mを常に意識でき、統一されている ・実技検定はFIT認定者が行う。横からのサポートは特に必要ない。	FIT チェックリスト		座学は必須。 定期的にレフリーをしている場合（最低一年に二回専属レフリーとして都道府県協会もしくはJTA主催大会に参加）はIntermediateの実技チェックリストでアップデート。 一年以上ブランクがある場合は実技テストも必須とする。 (JTAと要相談、実技確認後、JTAはレベルを保留にすることができる)	エンジョイリーグレベルや地元クラブチーム主催の交流戦を定期的にレフリーをする JTA主催の地方大会へ参加、可能であれば全日本へ参加 >L1取得から半年経過すればL2に挑戦することができる
3	エンジョイリーグ 地方大会・リーグ戦 全日本 SITK SITK Asia Club Championship	State Cup SITK Asia Club Championship	全日本 SITK SITK Asia Club Championship State Cup	FIT Advanced Level 座学・実技（エンジョイリーグ・JTA地方大会） レベルの定義：ルールの応用ができる（矛盾がなくアドバンテージを取れる）、自ら自信を持って試合をコントロールできる、選手と関係を持てる。 ・自然な形で試合を運ぶことができる ・選手に率先してコミュニケーションを図り、可能な限りペナルティーを未然に防ぐ。 ・次のプレーを予測できる。 ・5mを常に意識でき、統一されている。 ・レフリー間のチームワークが見られるようになる。 ・実技検定はFIT認定者が行う。	FIT チェックリスト		座学と実技テスト必須 (JTAと要相談)	JTA主催の地方大会へ定期的に参加、決勝を吹く JTA主催の全日本大会へ1.5年に一度は参加 >L2取得から1年経過すればL3に挑戦することができる
4	地方大会決勝 全日本予選 Asia Club Championship International Club Championship SITK State Cup World Cup* *World Cup: L4取得1年半以内の者、もしくは1年以上レフリーしていない者は要相談。可能な限り最低1回WC前年度	World Cup State Cup NTL	地方大会決勝 全日本 Asia Club Championship SITK State Cup	知識：FIT Advanced Level 実技：オーストラリア協会を参照 レベル定義：アドバンテージをうまく使いながら試合を運べる、セットプレイを理解した上で最適なポジションにつくことができる。レフリーチームを意識し、互いにサポートできる。 ・事前に選手とコミュニケーションを図り、ペナルティーを未然に防ぐ ・試合の動きを読み、ベストポジションにつく ・アドバンテージをうまく使いながら試合の流れを意識した試合運びができる ・レフリー間のチームワークを率先して取る ・実技検定はFIT認定者が行う。他のレフリーのサポートにつくことができる。必要に応じてアドバイスなどもできる。	海外対応		<現在のレベルに匹敵しないため、再度取得する> オーストラリアState Cupで取得 ワールドカップで取得	JTA主催の地方大会へ定期的に参加、決勝を吹く 年に一度は全日本への参加 >L3取得から1年経過すればL4に挑戦することができる
5	全大会（国内外） State Cup NTL/Nationals EUROs World Cup* *World Cup: 1年以上レフリーしていない者は要相談。可能な限り最低1回WC前年度内で海外大会経験者。	World Cup State Cup Euros Nationals NTL	全大会（国内外）	レベル定義：上級レフリーとしての知識が豊富で、他レフリーをサポートする。ルールの理解や知識、試合の経験を生かして、試合の流れを理解しながら有効に試合をコントロールできる。チーム意識が高く、コミュニケーション力も高い。選手、コーチ、レフリーチームと常に良好な関係を築きながら試合を行える。 ・実技検定はFIT認定者が行う。他のレフリーのサポートにつくことができる。必要に応じてアドバイスなどもできる。	海外対応		<現在のレベルに匹敵しないため、再度取得する> オーストラリアNTLで取得 ワールドカップで取得	全日本への参加、決勝を吹く（メンズ、ウーマズ指定なし） シニアレフリーとしてコーチングを行う 可能であれば海外大会への参加 >L4取得から1年経過すればL5に挑戦することができる
6	全大会（国内外） NTL/Nationals EUROs World Cup* *World Cup: 1年以上レフリーしていない者は要相談。可能な限り最低1回WC前年度内で海外大会経験者。	World Cup State Cup Euros Nationals NTL	全大会（国内外）	レベル定義：上級レフリーとしての意識が高く、他レフリーをサポートする。ルールの理解や知識が豊富で数々の試合の経験を生かして最適な判断を常に取ることができる。コミュニケーション力が高く、選手、コーチ、レフリーチームと常に良好な関係を築きながら試合を行える。シニアレフリーとして率先してリーダーシップを取ることができる。 ・実技検定はFIT認定者が行う。他のレフリーのサポートにつくことができる。必要に応じてアドバイスなどもできる。	海外対応		<現在のレベルに匹敵しないため、再度取得する> オーストラリアNTLで取得 ワールドカップで取得	全日本への参加、決勝を吹く（メンズ、ウーマズ指定なし） シニアレフリーとしてコーチングを行う 可能であれば海外大会への参加 >L5取得から1年経過すればL6に挑戦することができる

*各レベルの参加可能大会以上の大会に参加希望者は地方協会の協会長推薦状（メール可）、もしくは都道府県協会がまだ創設されていない都道府県より参加の場合は希望者所属チームの代表者より推薦をもらい、JTAへ推薦状を送ることとする。

*海外大会参加希望者は海外協会へ連絡する前にJTAへ参加希望連絡を必須とする。その上でJTAは各海外担当協会へ推薦状を送ることとする。参加希望者のレベルによっては要相談とする。

*JTA認定レフリーはJTAを「代表している」という意識を持ち、言動や行動が他参加者への模範となるよう国内外の大会へ参加すること。